

科目名	柔整介護実践Ⅱ					
分野	その他の分野	担当教員	知名 規人			
開講時期	2学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	少子高齢社会において、近年、機能訓練指導員のニーズが高まっている。そのため、特別養護老人ホームやデイサービスなどで機能訓練指導員が活動する機会が増加している。柔道整復師の活躍が益々期待されている領域であり、本科目で知識・技能を習得する必要性が高い。講義と演習、実技をまじえて講義を行う。					
学習の到達目標	1. 介護予防・日常生活支援事業について学ぶ。 2. 日常生活活動(移乗)の評価方法や介助方法を習得する。 3. 日常生活活動(食事)の評価方法や介助方法を学ぶ。 4. 高齢者施設でのレクリエーションなどについて学ぶ。 5. 認知機能障害(認知症等)のある人の理解を深め、関わり方や支援方法を学ぶ。					
成績評価の方法と基準	定期試験50%、小テスト10%、演習40%□					
使用テキスト	全国柔道整復学校協会(監修):柔道整復師と機能訓練指導:機能訓練指導員養成テキスト, 南江堂, 2022					
参考文献	必要に応じて紹介					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	オリエンテーション 介護予防・日常生活支援事業【講義】					
2	日常生活活動(移乗)の評価方法と介助方法①【演習】					
3	日常生活活動(移乗)の評価方法と介助方法②【演習】					
4	日常生活活動(移乗)の評価方法と介助方法③【演習&講義】 課題:発表、演習シート提出					
5	生活支援機器:車椅子の基礎知識、シーティング①【講義】					
6	生活支援機器:車椅子の基礎知識、シーティング②【演習】 課題:演習シート提出					
7	摂食・嚥下障害の評価・訓練、食事動作①【講義】					
8	摂食・嚥下障害の評価・訓練、食事動作②【演習】 小テスト 高齢者施設でのレクリエーションの実践①【講義&演習】					
9	高齢者施設でのレクリエーションの実践②【演習】					
10	高齢者施設でのレクリエーションの実践③【演習】 課題:発表					
11	認知症のある人との関わり方や支援方法①【講義】					
12	認知症のある人との関わり方や支援方法②【演習】					
13	認知症のある人との関わり方や支援方法③【演習】 課題:演習シート提出					
14	全体振り返り					
15	総合評価(まとめ)					

(2025年度)